

技術概要書（様式）

※別紙2

出展技術の分類	安全・防災 インフラDX 維持管理 環境 コスト 品質 （該当分類に○を付記）
技術名称	遠隔臨場検査監督システム アテネット
NETIS登録番号	QS-200026-VE
社名等	シマウチエンジニアリング株式会社
担当部署	業務管理部 技術営業課
担当者	中川 和樹
電話番号	0952-22-5107
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機 弊社では、土質試験を行う専用の試験室を設けており、多くのお客様に立会のためにご来社いただいております。しかしながら、遠方からお越しいただくお客様には、移動時間という大きなご負担をおかけしているのが現状です。わずか10分の立会のために、片道2時間もの道のりをかけていらっしゃる方もおられました。そこで弊社では、お客様の移動のご負担を少しでも軽減したいとの思いから、2018年より映像中継によるリモート立会システムの構想を開始し、開発に取り組んでまいりました。 2. 技術の内容 本技術は、土木・建築分野をはじめ立会を要する業務において、監督員が現場や試験室に移動することなく、机上のパソコンやタブレット端末上で立会を可能にする遠隔臨場システムです。 【主な特徴】 1. 立会簿作成機能 映像で確認した項目を端末上に手書き、テキストで入力可能。入力内容は、瞬時にお互いの端末に共有。さらに、帳票には監督員の署名が可能。 2. ドローン映像の共有（現場を俯瞰的に確認） 3. 導入が容易なWebアプリケーション 3. 技術の効果 ・パソコンやタブレット端末上で立会が可能になったことで、監督員等の移動時間や立会中の手待ち時間を大幅に削減される。 ・立会終了と同時に立会簿が完成し業務の効率化が図れる。 ・遠隔で立会を行うためコロナウイルスのような感染症の対策に効果がある。 4. 技術の適用範囲 ①適用可能な範囲：立会業務全般（段階確認、材料確認、立会） ②特に効果の高い適用範囲：監督員等と現場の距離が遠方である場合、立会の頻度が多い場合 ③適用できない範囲：インターネット環境がない地域 ④適用にあたり、関係する基準およびその引用元：建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）令和5年3月、国土交通省 大臣官房技術調査課 5. 活用実績 ・国の機関 95件（九州 95 件、九州以外 0 件） ・自治体 38件（九州 37 件、九州以外 1 件） ・民間 3件（九州 3 件、九州以外 0 件）

6. 写真・図・表



NETIS登録番号: QS-200026-VE

実用新案登録番号: 第3234061号

② 動画中継機能

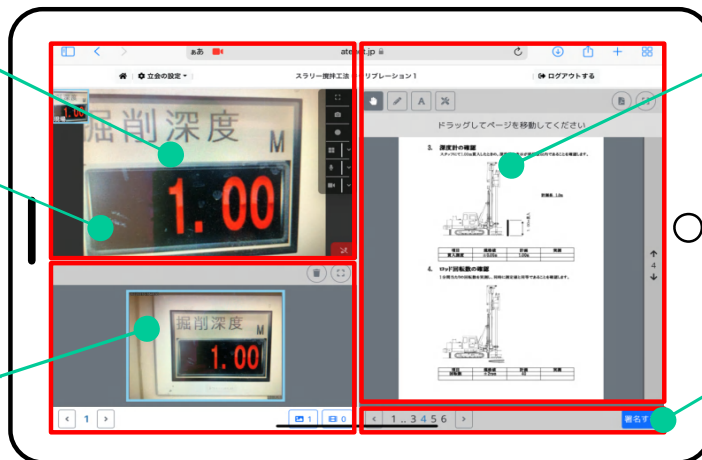
・最大4地点と中継が可能

③ ドローン映像共有

・ドローンの俯瞰映像を共有

④ 動画キャプチャー機能

・中継映像は、動画と静止画で保存が可能
・CALSサイズに対応



① 帳票機能

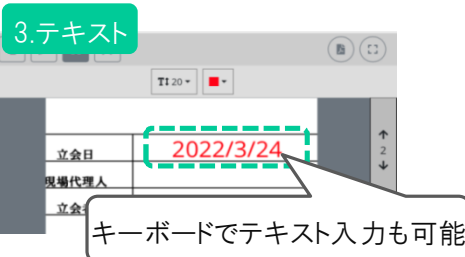
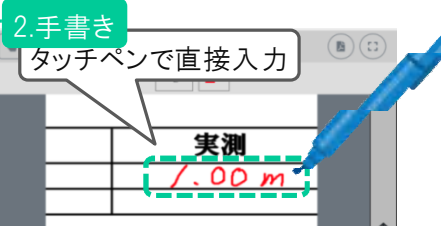
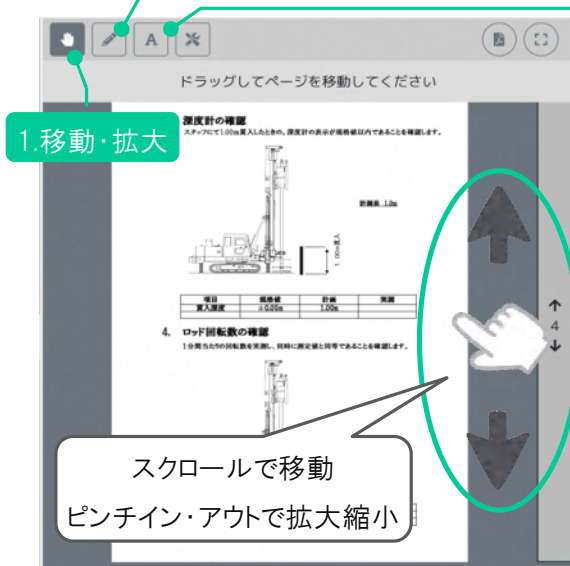
・PDFに変換すれば、どのような帳票も登録可能
・帳票には手書き記入が可能
・リアルタイムで記入情報を共有

⑤ 署名機能

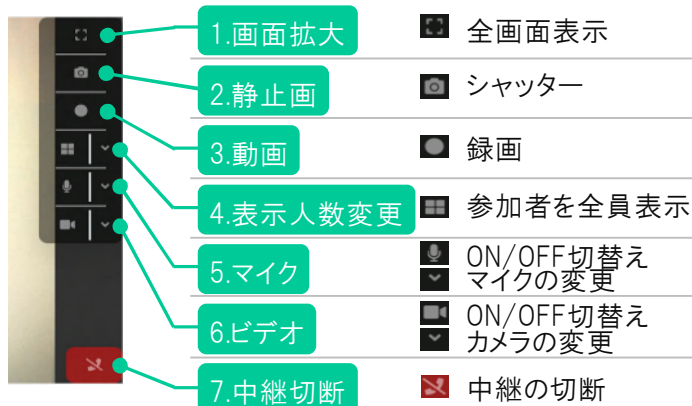
・承認は直筆署名が可能

機能の詳細

① 帳票機能

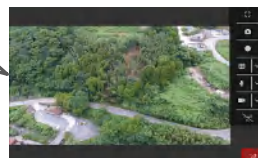


② 動画中継機能

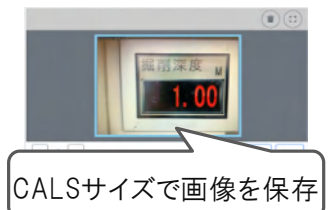


③ ドローン映像共有

俯瞰映像



④ 動画キャプチャー機能



⑤ 署名機能

タッチペンで直筆署名

